

イベント会場装飾としての寄せ植え花壇

～芝生の上にプランターで花の絵を描く～

作成者：グリーンアドバイザー 中道光子

- 対象者・人数：幼稚園児、保育園児 40人（1保育園20名）
- 所要時間：1時間～1時間（10：00～11：00等）
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、
幼稚園・保育園の先生各1名、アシスタント10名
- 実施場所：花緑のイベント会場、保育園・幼稚園の園庭

<日比谷公園ガーデニングショウ10月下旬開催イベント花壇作成例>

- 資材
 - ・プランター（プラスチック製 子供が両手で持てる大きさ）
 - ・鉢底ネット
 - ・培養土
 - ・肥料
 - ・ワイヤー
 - ・土入れ
 - ・割り箸
 - ・ペットボトル（水やり用として）

- 花材：・ビオラ2苗 ・チューリップの球根1個

- 花材例
 - 春＝ワスレナグサ、ロベリア、バーベナ 等
 - 夏＝ペチュニア、マリーゴールド、サルビア 等
 - 秋＝ベゴニア、コリウス、ジニア 等
 - 冬＝パンジー、ビオラ、ミニシクラメン 等



プランターで作る花の絵



寄せ植えの資材と花材



ビオラの寄せ植え



ペチュニア



パンジー



ミニシクラメン

【指導内容と目的】

- ・緑の少ない都会の中で、子どもたちは土に触れることが少なくなっている。公園という公共の場所で、土や地面がなくても楽しむことのできるコンテナの寄せ植えにより、地面に絵を描いて花壇を作成する。自然との調和、人と人との共同作業の大切さを教える。
- ・自分たちが親から愛情をかけて育てて頂いているように、植物にも命があり、自分が水やりをして育てるという命の大切さ、生命あるものに触れ育てる感動を味わう。

【対象者への配慮】

- ・公園（日比谷公園）は、はじめて訪れる場所なので、事故のない様に安全に気をつける。（あらかじめ会場の施設やトイレ水道等は確認しておく）
- ・5歳児が、両手で持てる大きさ、土を入れても持てるプランターの重さにする。
- ・保育園や家に持ち帰るということを考え、壊れにくいプラスチック製プランターとする。
- ・植える花や球根の紹介、植える手順の説明等は、ゆっくりと子供たちがわかりやすい言葉で話す。
- ・子供が順番に回って作業をし、最後の絵のところに作った寄せ植えを置いて終了となる。各作業箇所の説明担当者は、解りやすいように、各箇所ごとに番号をつけ、担当のアシスタントにも同じ番号をつけて解りやすくする。担当者は、帽子やエプロン等に番号をつけるとわかりやすい。（子供達は、数字で順番に追っていくほうが自分の進む場所を理解しやすい）

1.主催者、会場と打ち合わせ

- ・園からの交通手段（バスの乗り入れの方法）を確認。
- ・雨天の時の対応。（屋内施設や屋根のある場所等を確認する）
- ・公園内の導線の確認。トイレの位置、手洗いの位置。
- ・花の絵の設置場所、広さを確認。

2.園との打ち合わせ

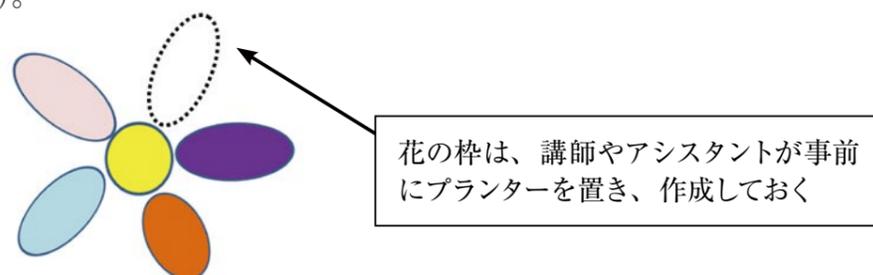
- ・担当の先生と打ち合わせをして、人数、会場到着時間、経路、トイレの位置、手洗いの位置を確認。
- ・当日の作業順番を説明。
- ・園での準備について確認。（プランターに名札を付けるか否か、つけるときは園にて事前に作成する。名札シール、プラスチックの札、木の枝又はプランターに名前を書く）
- ・複数の園や複数クラスが参加する場合は、展示が終わった後に園に持ち帰るプランターの花色等、園ごとに植える花色の配分を相談して確認しておく。

3.アシスタントとの打ち合わせ

- ・園児が植え込む時の流れを順に追って説明し、自分の担当場所、その場所の番号を確認。

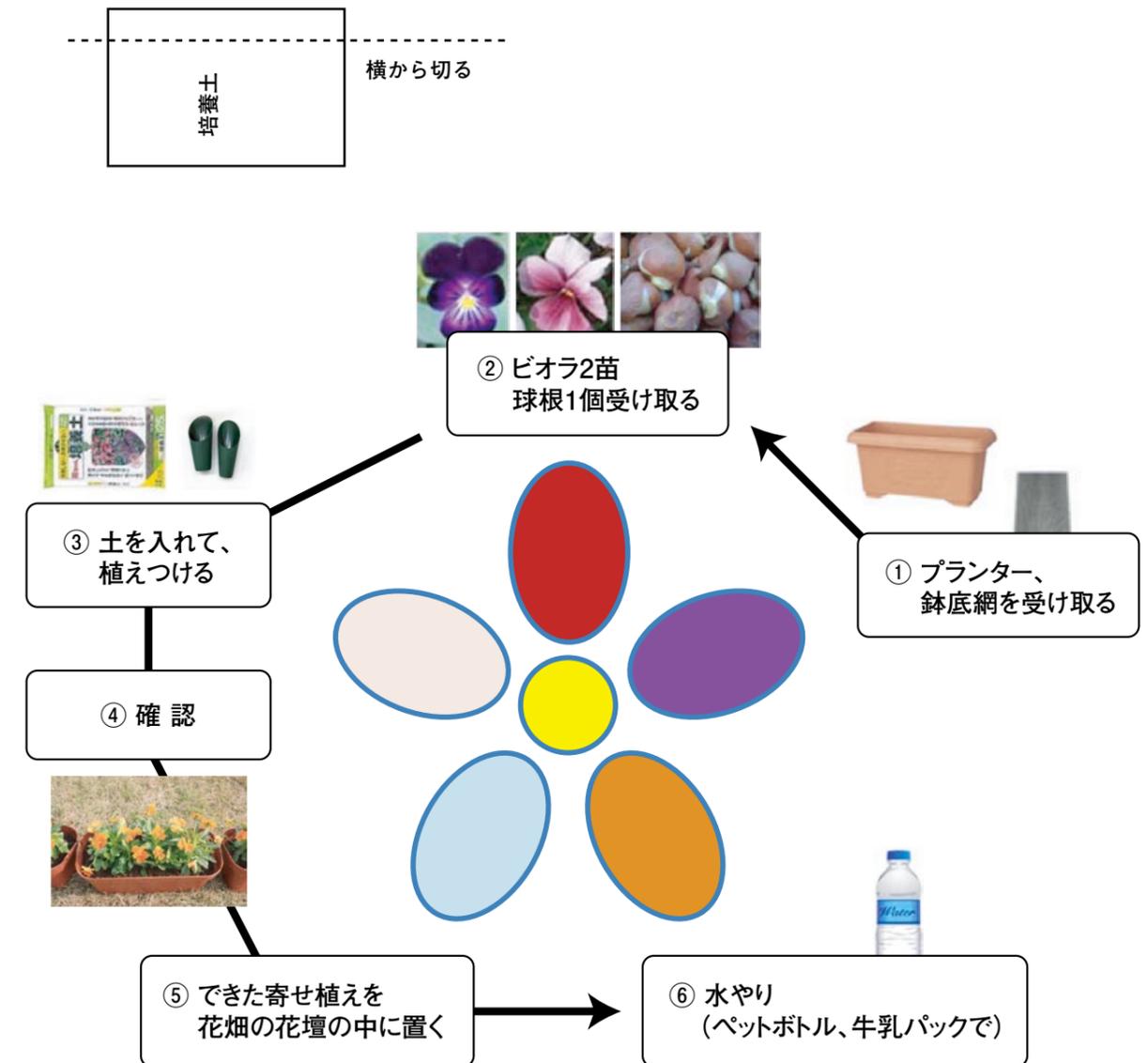
4.事前の準備

- ・資材、プランター、鉢底ネット、ワイヤー、培養土、肥料、花苗、球根の手配
- ・前日に参加人数を確認
- ・当日園児が、すべての寄せ植えを時間内に作成することが不可能なときは、花壇の外周等は、前日に講師とアシスタントで作成しておき、当日完成できるようにしておく（完成した形を子供達に見てもらうこと）。



5.会場作り

- ・下記のレイアウト図の①から⑥までの番号に必要な資材を広場に間隔をあけて用意しわかりやすいように、番号を立てる。
- ・各園ごとが植える花苗は、色分けをしてまとめて置く。
- ・培養土は横に置き上を開ける。（座りが良く又使いやすい）



6. 当日の流れ

時間（所要時間） 10:00～11:00等
園児は、座って前を向き説明を聞く

① 挨拶

講師は自己紹介、アシスタントの紹介。

② 公園の紹介

③ イベント（ガーデニングショウ）の紹介

④ 花苗、球根を良く見せながら名前、特徴等ゆっくりと話す。



⑤ 植え込みの順序を、順を追って作業の仕方を説明し、アシスタントの番号も良く分かるように説明をする。



7. 作業手順



①プランター、鉢底あみを受け取る。



②球根1個、ビオラ2苗を受け取る。



③培養土にて
植え込む。



④土がきちんと入っているかを確認してもらう。



⑤花の絵の枠の内側にプランター置く。
アシスタントが置く場所に誘導する。



⑥花の絵が完成したらペットボトルや牛乳パックに水を入れて水やりをする。



⑦ガーデニングショーが終了したら園に持ち帰り、春にチューリップが咲いて花が終わるまで皆で管理することを伝えて、管理の方法を説明する。



⑧挨拶をして終了